

# アセットオーナーによるインパクト投資 ～かんぽ生命～

2025年2月18日  
株式会社 かんぽ生命保険  
執行役員 兼 運用企画部長  
野村裕之

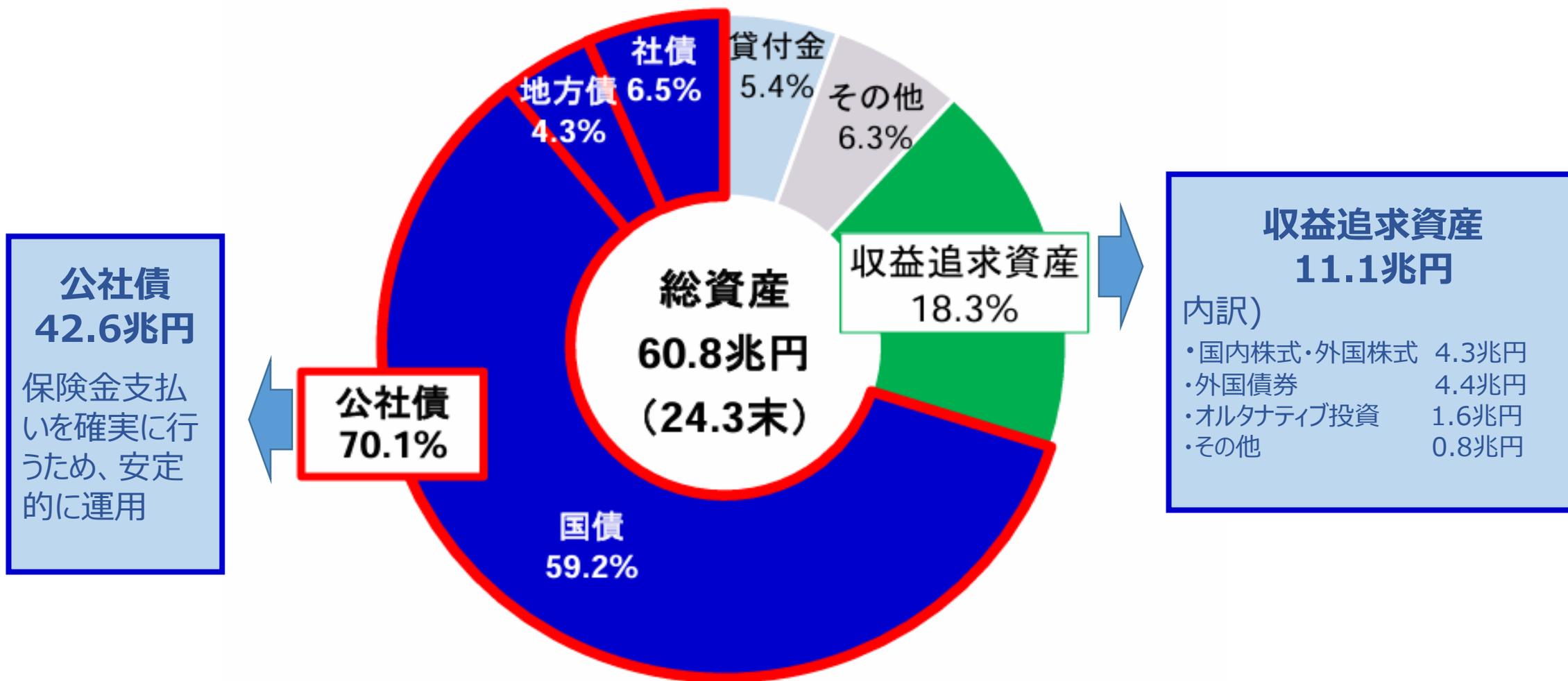
(責任投資レポート2024)

<https://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/company/assets/pdf/sekinintoushi2024.pdf>



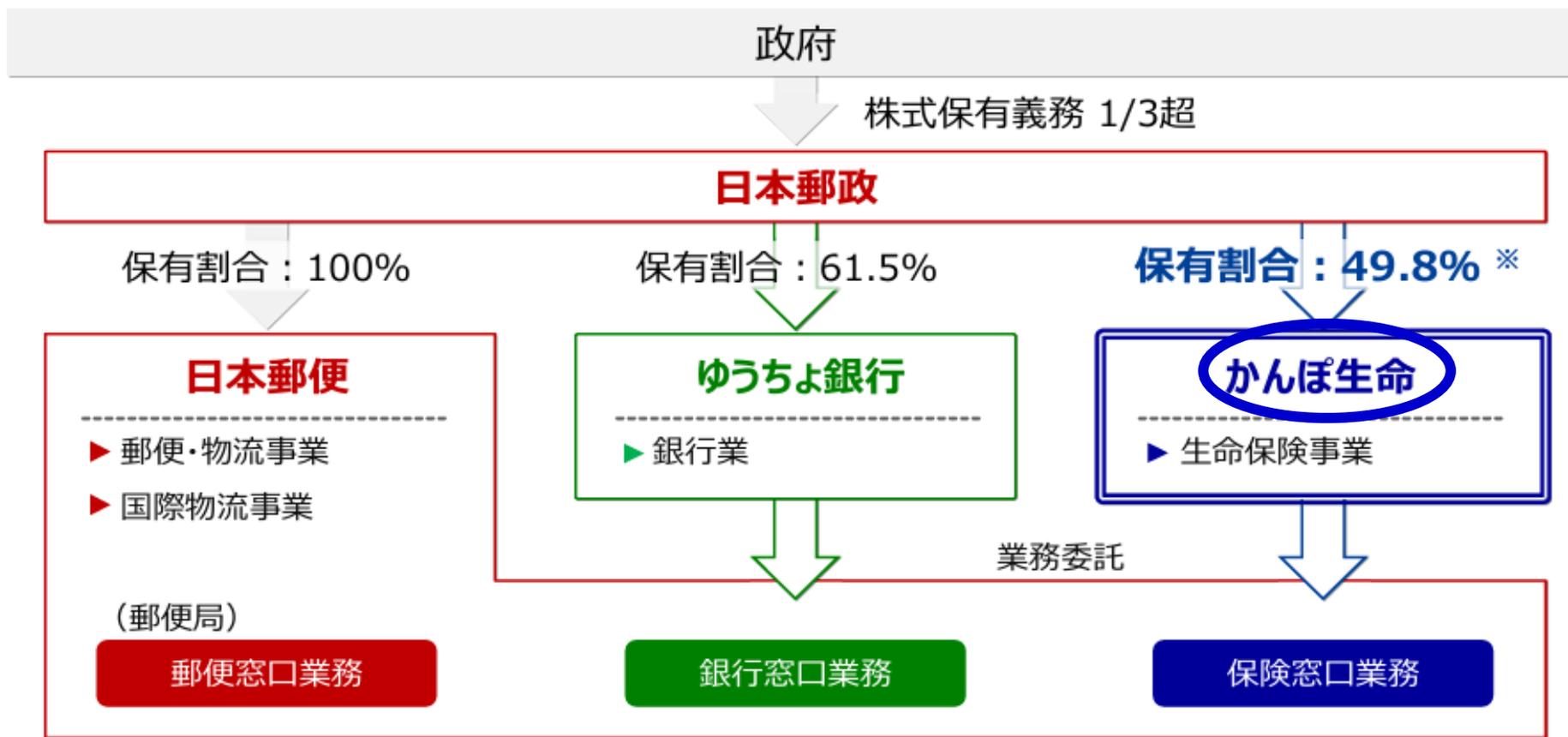
## 総資産

### 資産構成



# 日本郵政グループにおける位置づけ

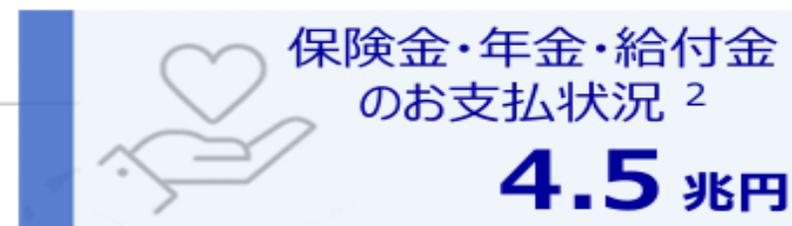
主要 3 事業のひとつとして、全国の郵便局を通じて生命保険を販売



※ 保有割合は、2024年3月末時点の議決権の保有割合。

## 数字で見るかんぽ生命

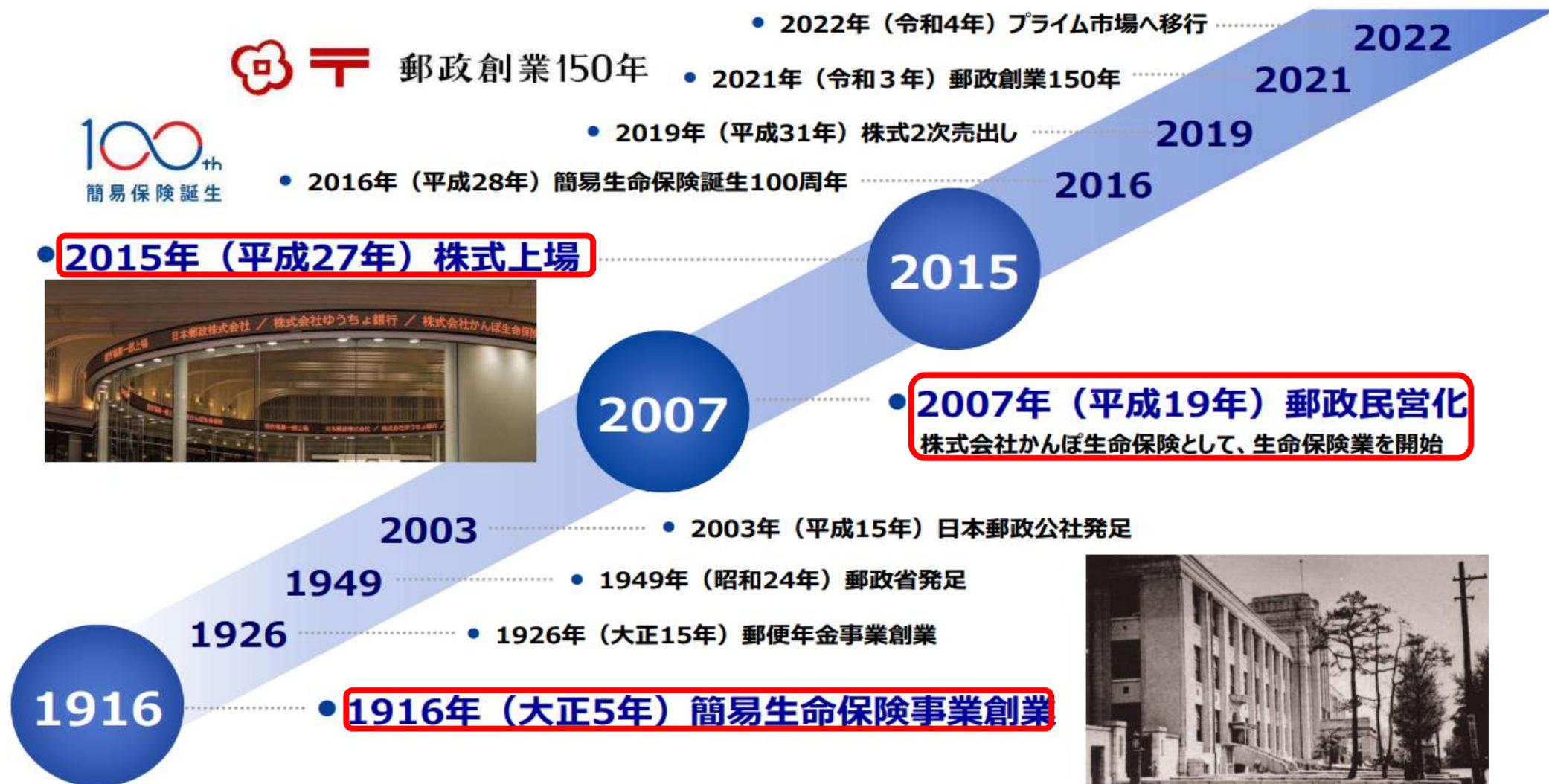
2024年3月末現在



1 生命保険事業を行う郵便局数（簡易郵便局を含む）

2 2023年度の保険金・年金・給付金の合計。ただし、保険金には独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構における解約還付金等を含む

## かんぽ生命のあゆみ



## かんぽ生命のあゆみ -かんぽ生命とラジオ体操(健康増進・Well-being向上)

起源はかんぽ生命。今も地域・社会のみなさまの身近に。

2028年 ラジオ体操100周年

1928年、当社の前身である**逓信省簡易保険局**が制定

### 1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭

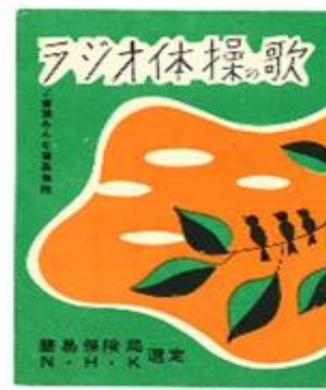
1962年から毎年実施  
NHK総合テレビなどで全国に生放送



2023年度は横浜市（上の写真）、  
2024年度は旭川市で開催

### ラジオ体操カードの配布

1952年から毎年「ラジオ体操出席カード」を  
作成し、全国の子どもたちに配布



1952年の  
出席カード



2024年の  
出席カード

ラジオ体操の普及促進・・・「いつでも、どこでも、だれでも」気軽にできる体操

## 地方公共団体融資（旧簡易生命保険資金）

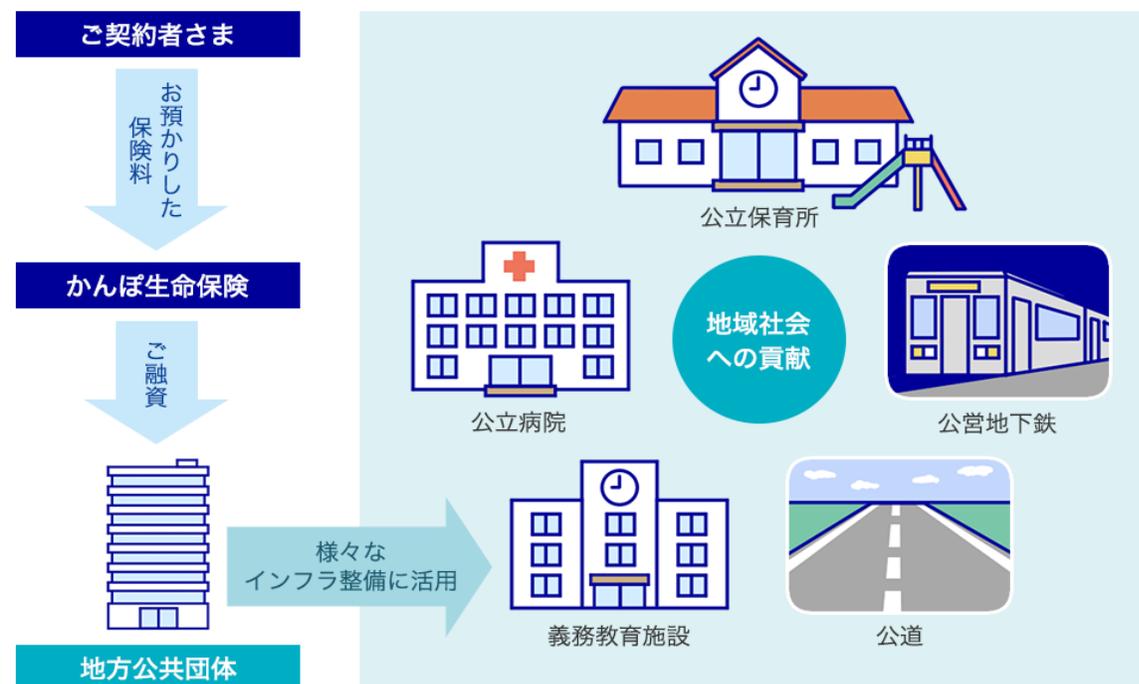
### 旧簡易生命保険資産の地方公共団体向けの融資

1916年に旧逓信省が「簡易生命保険事業」として創業して以来、2007年の民営化まで実施してきた旧簡易生命保険資産の地方公共団体向けの融資は、小中学校の整備、公営住宅の建設や下水道の普及など地域社会のインフラ整備および住民福祉の増進に寄与。

### 地域社会への貢献

地方公共団体貸付資金は、全国の様々なインフラ整備等に活用され、現在も全国各地の地域社会を支える。

**<2024年3月末時点>**  
融資先 約1,700団体  
融資残高 約2兆1,866万円



# サステナブル投資の新たなステージへの挑戦

## 資産運用における使命

### 経営理念

いつでもそばにいる。どこにいても支える。  
すべての人生を、守り続けたい。

#### 生命保険会社 として

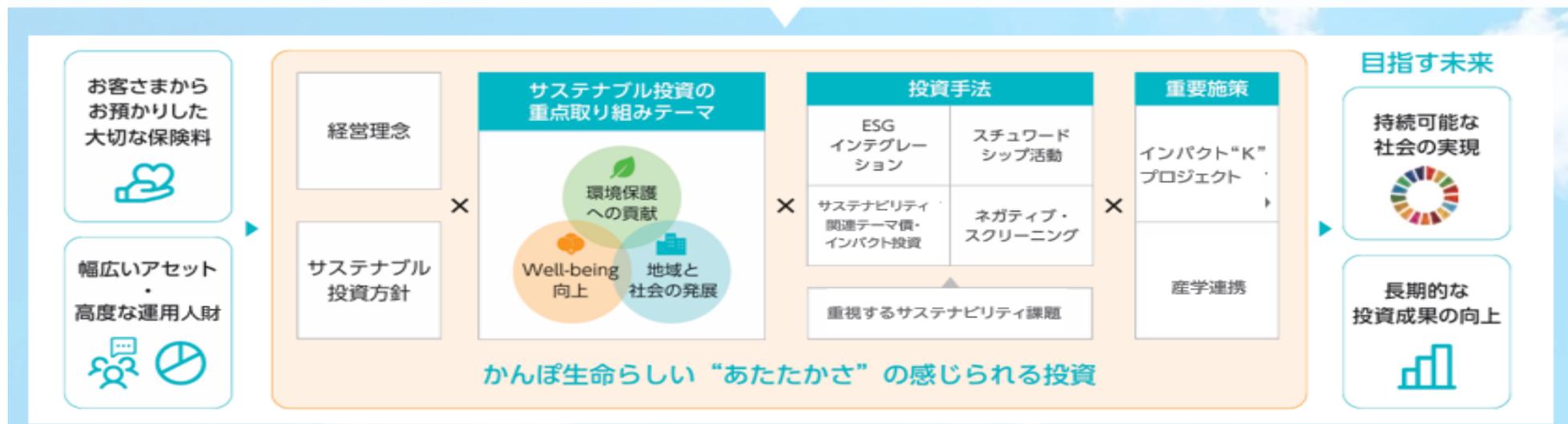
将来の保険金等のお支払いに備え、  
お客さまからお預かりした  
保険料をたいせつに運用します

#### ユニバーサルオーナー として

投資額が大きく、資本市場全体に幅  
広く分散して運用する機関投資家と  
して、経済・社会全体の持続的成長  
に貢献していきます

#### 上場企業 として

持続的な成長、  
中長期的な企業価値の向上  
を目指します



# インパクト投資への想い

## 資産運用における使命

### インパクト投資について

- ▶ インパクト投資は未来の世代により良い社会を残すための架け橋としての役割を果たす。
- ▶ インパクト投資はインパクト創出を通じ社会課題にダイレクトに働きかけることができる。インパクト投資という資産運用の手法を通じて社会課題を解決できる。
- ▶ インパクト投資は確かに手間や時間がかかる取り組み。しかしそれ以上に持続可能な効果を生み出す可能性がある。持続的な効果を生み出すために、投資家が企業と長期的な対話を続け、評価のサイクルをしっかりと創り上げることが大切である。
- ▶ 日本のインパクト投資が未上場株やスタートアップが中心である中、上場株式市場においてインパクトの創出力を企業価値のひとつとして認めることを投資家が示すことは、投資先企業の経営者に対して一定の訴求力を持つ。

### “インパクト投資は、わが遺伝子”

お客さまからお預かりした大切な保険料を原資とした投融資(民営化以前から行ってきた地方公共団体貸付)を通じて地域・社会へ貢献する遺伝子、またラジオ体操を通じて人々の健康づくりや地域コミュニティの活性化に貢献しようとする精神は、創業当初から脈々と受け継がれ、その遺伝子・精神は、現在のかんぽ生命におけるサステナブル投資、インパクト投資の取り組みに引き継がれている。



## インパクト投資推進のポイント

### インパクト投資の親和性（長期投資）

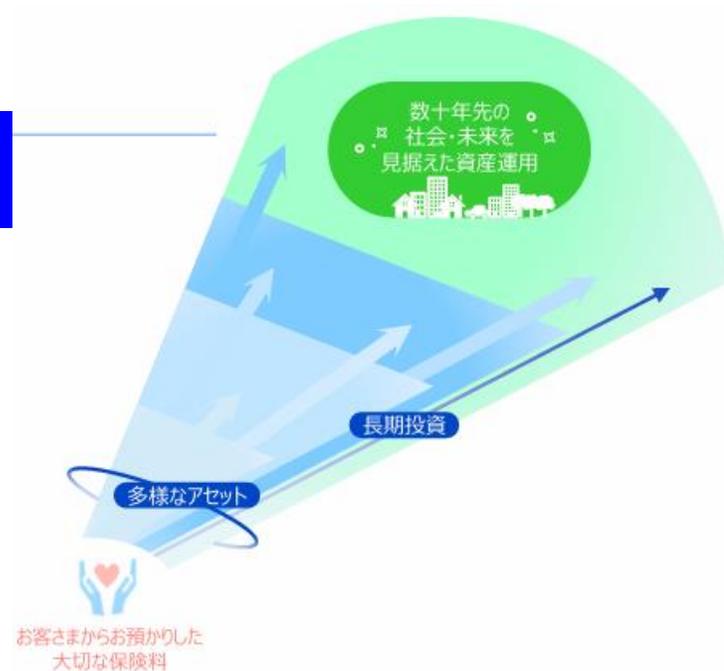
- ▶ インパクト投資ではこれまで解決されてこなかった社会課題の解決に資する、**中長期的**に高い競争力・成長性を有する新しい技術やビジネスモデルにチャレンジする事業等に投資する。**長期的に安定した収益**の獲得を目指すかんぽ生命の資産運用スタイルと、**長い目線を必要とする**インパクト投資とは親和性が高い。**数十年先の社会的な影響を考慮しながら**インパクト投資に取り組むことは、生命保険に対する社会からの要請に答える手段である。

### アセットオーナーとしての役割・責任（協働を通じた市場の活性化）

- ▶ インパクト投資は社会課題の解決を目指しながら、同時に長期的な収益獲得を目指す。その効果を最大化するには、**金融業界の枠を越え、市場全体での認知度向上、意識醸成が不可欠**で、様々な投資家や企業の関心が高まり、インパクト志向の投資や経営が支持されることで、課題解決を企業に結びつける、**持続可能なエコシステム**が多くの参加者を巻き込み機能し始める。
- ▶ アセットオーナーの当社は、**金融市場のインベストメントチェーンを通じて**、直接的または間接的に企業や経済の成長と果実を受益者等にもたらす責任を担う。**幅広いアセット**(PE投資、上場株式、アカデミアと協働する産学連携ファンド等)**に対するインパクト志向の投融資を、投資先企業、アセットマネジャー、他の投資家の皆さまとの協働**を通じて、インパクト投資の拡大と発展に貢献できる。

### かんぽの目指すインパクト投資（金融、アセットオーナー、ユニバーサルオーナー発の社会課題解決）

- ▶ 社会課題の構造的な解決を目指し、**システムチェンジ**を促したい。社会課題を主体的に・直接的に解決していく企業・事業への投資を目指す。「**社会課題の重要性・喫緊性**」と「**社会課題の貢献度**」を重要視。



## インパクト志向金融宣言への署名(2021年12月)

赤字と下線の強調：かんぽ生命による強調

### 金融宣言 前文の一部

深刻化する地球温暖化問題、達成が危ぶまれる持続可能な開発目標(SDGs)、コロナ感染危機によってあぶり出されたデジタル化・医療制度改革の遅れなど、**内外の環境・社会課題は山積**となっている。こうした課題の解決に向けて、政府・自治体・国際機関による公的資金に依存した対応には明らかな限界があり、**民間資金による投融資が不可欠**である。このためには、**金融機関が企業活動のもたらす環境・社会への変化**（以下「インパクト」という）**に着目し**、投融資先である企業の生み出すネガティブインパクトを削減すること、およびポジティブなインパクトを創出する双方の活動が求められている。

### 本文

1. 金融機関が**社会から期待されている役割を果たすためには**、その経営においてインパクト志向を持つことの重要性を理解しており、**インパクト志向の投融資を各参加金融機関において実践する**ように取り組んでいく。
2. 金融機関がその**投融資活動を通じて**生み出すインパクトを可視化し、投資戦略や投資判断に活用し**インパクト創出に向けた努力**を継続することが必要であると考えており、IMMを伴う投融資活動や金融商品の提供を推進する。
3. 以上の取り組みに関して、**それぞれの組織の状況に応じて自らの計画を策定**したうえで、**実践されたベストプラクティスや推進上の課題を署名者間で共有・議論**することを通じて、この活動が持続的に発展できるように運営していく。
4. IMMの質の向上やインパクト志向の投融資の量的拡大に向けて、署名金融機関のワーキングレベルで、意見・情報交換および必要な調査研究など、**協調的な活動**を行っていく。
5. 本宣言に参加していない金融機関を含む**我が国の金融業界全般にインパクト志向の金融機関経営の在り方やIMMの取り組みが波及していくように**協調して活動を行う。
6. **海外**で取り組まれているインパクト志向の投融資やIMMの推進にかかるイニシアティブに意欲的に参加し、国際的なインパクト志向の投融資の推進に貢献するとともに、**我が国からの発信**を積極的に行っていく。
7. この活動を、**我が国金融業界が、自律的に**インパクト志向の投融資を**持続的に発展**させることができるようになるまで継続する。

# インパクト投資のフレームワーク

インパクト志向の投資拡大に向けたかんぽ生命独自の投資フレームワーク

インパクト“K”プロジェクト

インパクト投資  
⇒中期経営計画「資産運用の深化・進化」の重点施策

## < インパクト“K”プロジェクトの特徴 >

アセットオーナーとしての責任を果たすため、当社独自の認証要件やスキームを確立し、インパクト投資のさらなる拡大を目指しています。

POINT

1

インパクト創出の  
質及び透明性の確保

POINT

2

多様なインパクト投資案件  
の積み上げ

POINT

3

アセットオーナー  
としての責任

## インパクト“K”プロジェクトの特徴（認証要件）

“なんとなく良い投資”ではなく、**実効的かつ実質的なインパクト創出を重視**するため、より**適切な管理**が求められる。

いつでもそばにいる。どこにいても支える。  
すべての人生を、守り続けたい。

Well-being向上

地域と社会の発展

環境保護への貢献

✓ かんぽの**経営理念**や3つの**サステナブル投資 重点取り組みテーマ**と**統合的**である

✓ 経済的リターンだけでなく、**並行して社会的リターン**を創出する

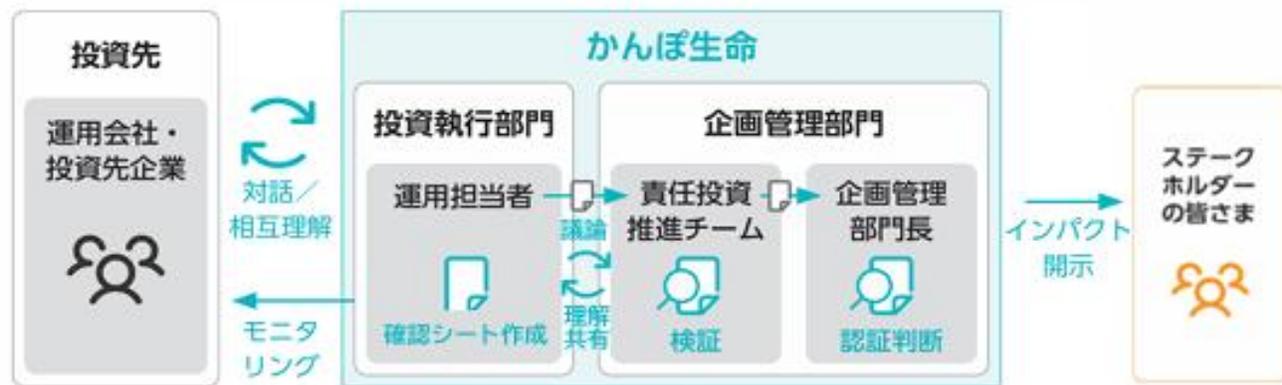
✓ **ポジティブかつ新たな社会的インパクト**を生み出す**明確な意図**を持つ  
(Intentionality : 創出意図)

✓ まだ満たされていない**環境や社会のニーズ**を解決する  
(Additionality : 追加性 / Contribution : 貢献)

✓ **定量的なKPI設定**、**定期的なモニタリング**が可能

## インパクト“K”プロジェクトの特徴（認証プロセス、確認シート）

### 🔍 認証プロセス



### 📄 確認シート

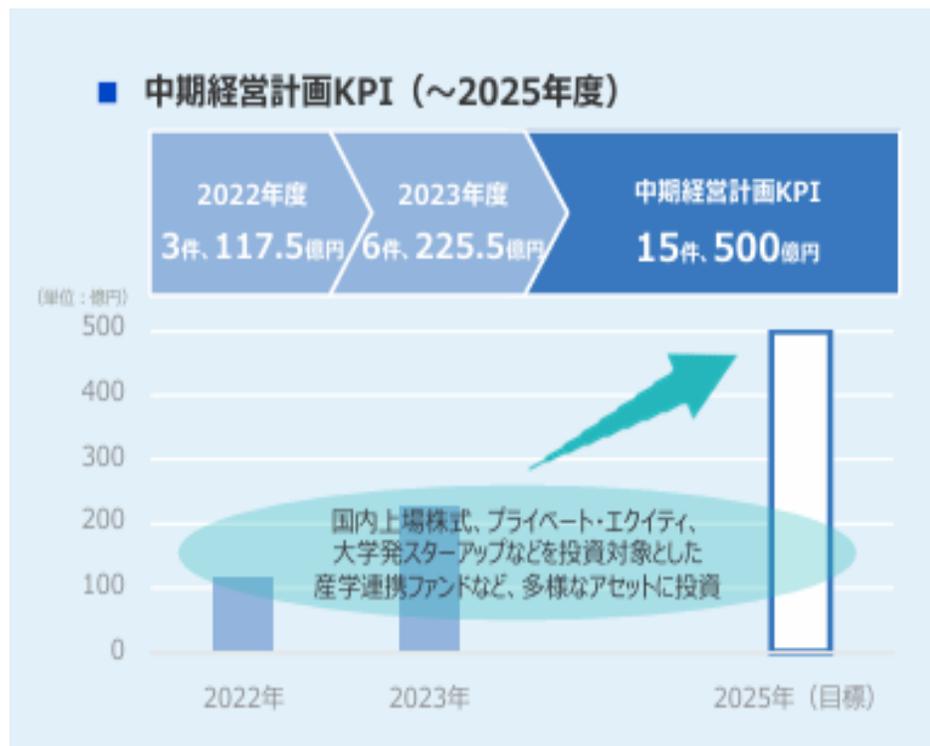
| インパクト“K”プロジェクト 確認シート  |                       |
|---|-----------------------|
| 発行日<br>担当者  |                       |
| 投資先概要   |                       |
| ファンド名   |                       |
| 運用会社名 / ゲートキーパー名  |                       |
| ファンド設定日/設定予定日   |                       |
| 投資額 (億円)  | 出社投資額<br>ファンド残額       |
| ファンドコンセプト   |                       |
| 解決を目指す社会課題  |                       |
| Intentionality  |                       |
| Contribution  |                       |
| Specialty / Expertise   |                       |
| かんぽやPFI会社の適合性<br>Well-being向上<br>環境社会の貢献<br>環境保護への貢献<br>他 (定期報告等) |                       |
| ロジックモデル / Theory of Change  |                       |
| 投資対象 / 資金使途   |                       |
| アウトプット  | 主要なKPI<br>KPIの達成      |
| 受益額 (what)  |                       |
| アウトカム (what, how much)  |                       |
| インパクト (contribution, risk)  | ポジティブ<br>ネガティブ<br>対応策 |
| 計測 (Measurement)  |                       |
| KPIの具体的な内容 (数値の変化)  | 測定<br>KPI             |
| KPI計測ツール  |                       |
| KPI計測時期/頻度  |                       |
| 運用担当者コメント   |                       |
| 評価日   |                       |
| 運用企画部 責任投資推進室 評価  | インパクト“K” 認定<br>所見     |

- **確認シート**を作成し、**投資執行部門**と**企画管理部門**で議論を交わす。シートに記載されている確認項目は、国内外におけるインパクト投資にかかわる様々な定義やベストプラクティスを参考に包括的に整理し、当社の目指すインパクト投資を選定する際のポイントが捕捉できるよう策定。
- このシートに基づき、様々な角度から議論し、**必要に応じて運用会社にも追加で質問したり対話機会の設定**を依頼。最終的に**企画管理部門長の決裁**を経て、インパクト“K”認証ファンドとして社内で管理。

## インパクト“K”プロジェクトの特徴

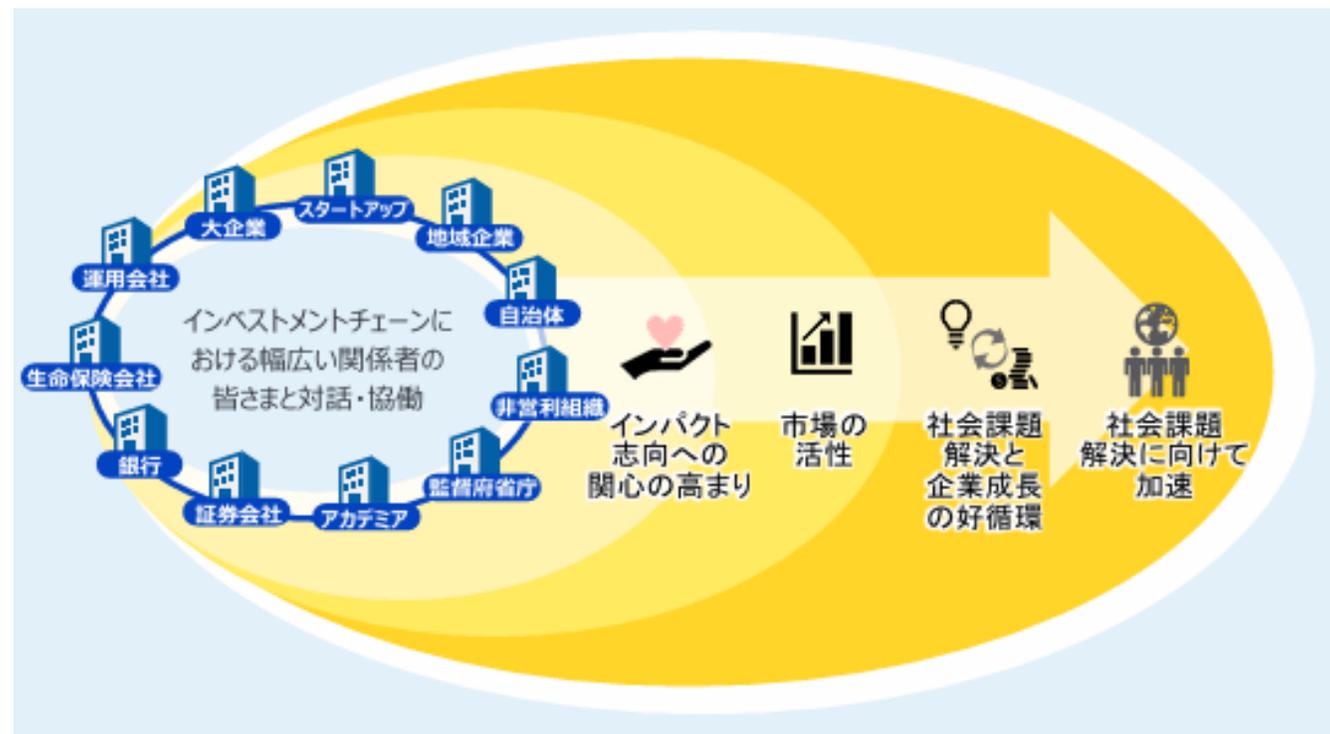
### 多様なインパクト投資案件の積み上げ

- 各投資案件における課題解決に至る道筋について適切に分析しながら多様なインパクト投資案件を積み上げに取り組む。



### アセットオーナーとしての責任

- アセットオーナーとしてインパクト投資市場の健全な発展に貢献するべく、投資先企業との対話や他の投資家との協働によるインベストメントチェーン全体への働きかけ、市場整備への協力のほか、イニシアチブやセミナー、開示資料、大学での講義、オウンドメディアなど様々な手段を活用して、インパクト志向の価値の普及に努める。



# GIIN(\*) Investor Forum 2022

(\*) Global Impact Investing Network : インパクト投資の推進(普及・啓発)を目的とした国際イニシアティブ

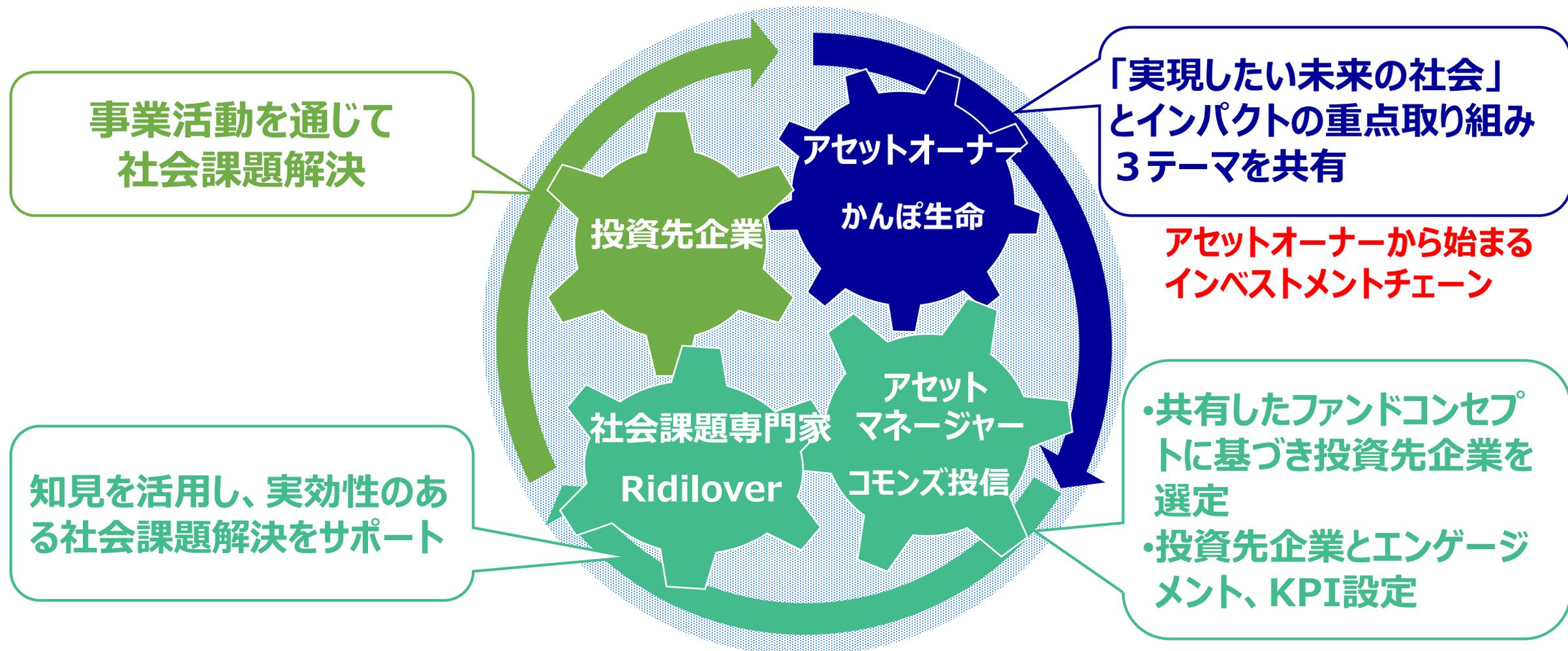
2022年10月、インパクト投資に関する世界最大級のフォーラムがオランダ・ハーグで開催  
(2023年コペンハーゲン、2024年アムステルダムで開催)



世界から1500名超、対面参加(3年振りの対面開催)

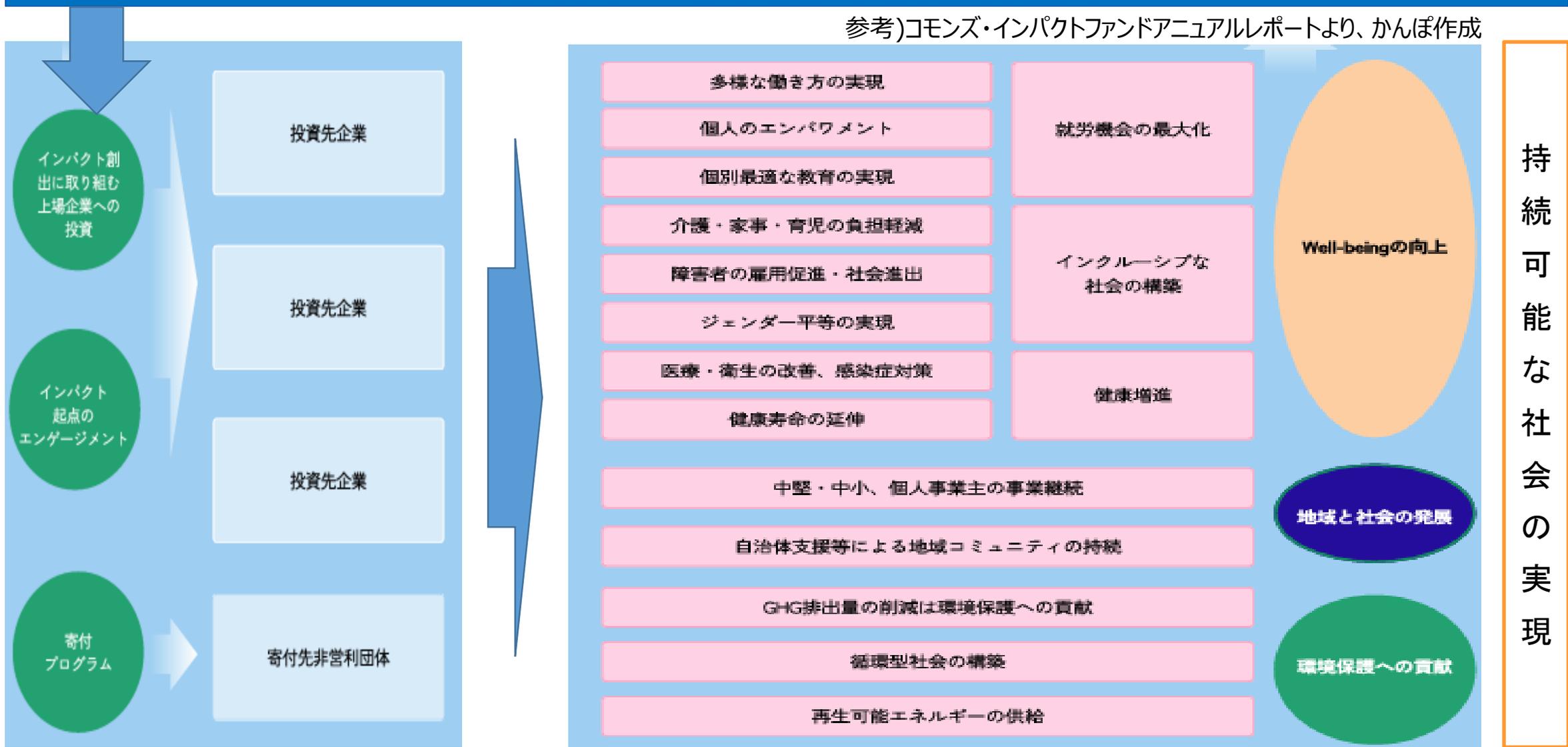
## 投資事例 国内上場株ファンド投資（コモンズ・インパクトファンド）

インパクトを共通言語にファンド参加者が一体となり、インパクトの創出に取り組む



### かんぽらしい“あたたかさ”の感じられる投資

参考)コモンズ・インパクトファンドアニュアルレポートより、かんぽ作成



## 産学連携

大学が持つテクノロジーには社会課題の解決に資するものが多数

⇒大学発のスタートアップに資金供給する枠組み



## 産学連携

### 学校法人3校と覚書を締結し、**包括的な取り組み**を推進

➤ 学校法人慶應義塾

2022年1月締結



慶應義塾  
Keio University

➤ 国立大学法人大阪大学

2023年1月締結



大阪大学  
OSAKA UNIVERSITY

➤ 学校法人立命館

2023年3月締結



RITSUMEIKAN

#### 協議事項

- ① アカデミアの持つ**革新的な技術開発や事業への投資**を推進
- ② 経済社会全体の持続的成長に寄与する機関投資家として、**次世代を担う金融人材の育成に貢献**するため、**大学において資産運用やサステナブル投資についての講義**を実施。
- ③ **小学生や高校生を対象とした金融教育**の実施。
- ④ **理系・デジタル人材向けインターンシップ**等、採用における取り組みの実施。

## 産学連携ファンド(慶應義塾 <KII>) ~インパクトファンドの立ち上げ

大学VCとして初めてのインパクトファンド「KII3号インパクト投資事業 有限責任組合」への出資について

商品・サービス

2023年10月31日

株式会社かんぽ生命保険（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 谷根 利夫、以下「かんぽ生命」）は、株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ（東京都港区、代表取締役社長 山岸 広太郎、以下「KII」）が組成する大学発ベンチャーキャピタルとして初めてのインパクトファンド「KII3号インパクト投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）への投資を実施しました。

本ファンドは、かんぽ生命と学校法人慶應義塾（東京都港区、理事長 伊藤 公平、以下「慶應義塾」）が締結した「Well-Being向上とアカデミアを核とした資金循環の促進に向けた連携・協力に関する覚書」に基づき、慶應義塾オフィシャルベンチャーキャピタルであるKIIを中心に検討を進め、組成されました。アカデミア物の医療・健康領域、デジタル・テクノロジー領域を投資対象とし、インパクト投資（※）を通じて、社会的リターンと経済的リターンの両立を目指します。

かんぽ生命は、アカデミアの持つ革新的な技術・事業への投資は、中長期的な投資成果の向上と持続可能な社会の実現に資するものと考えています。加えて、すべてのステークホルダーの皆さまに対する社会的責任を果たすという観点から、「Well-being向上」をESG投資における重点取り組みテーマのひとつとして位置付けています。

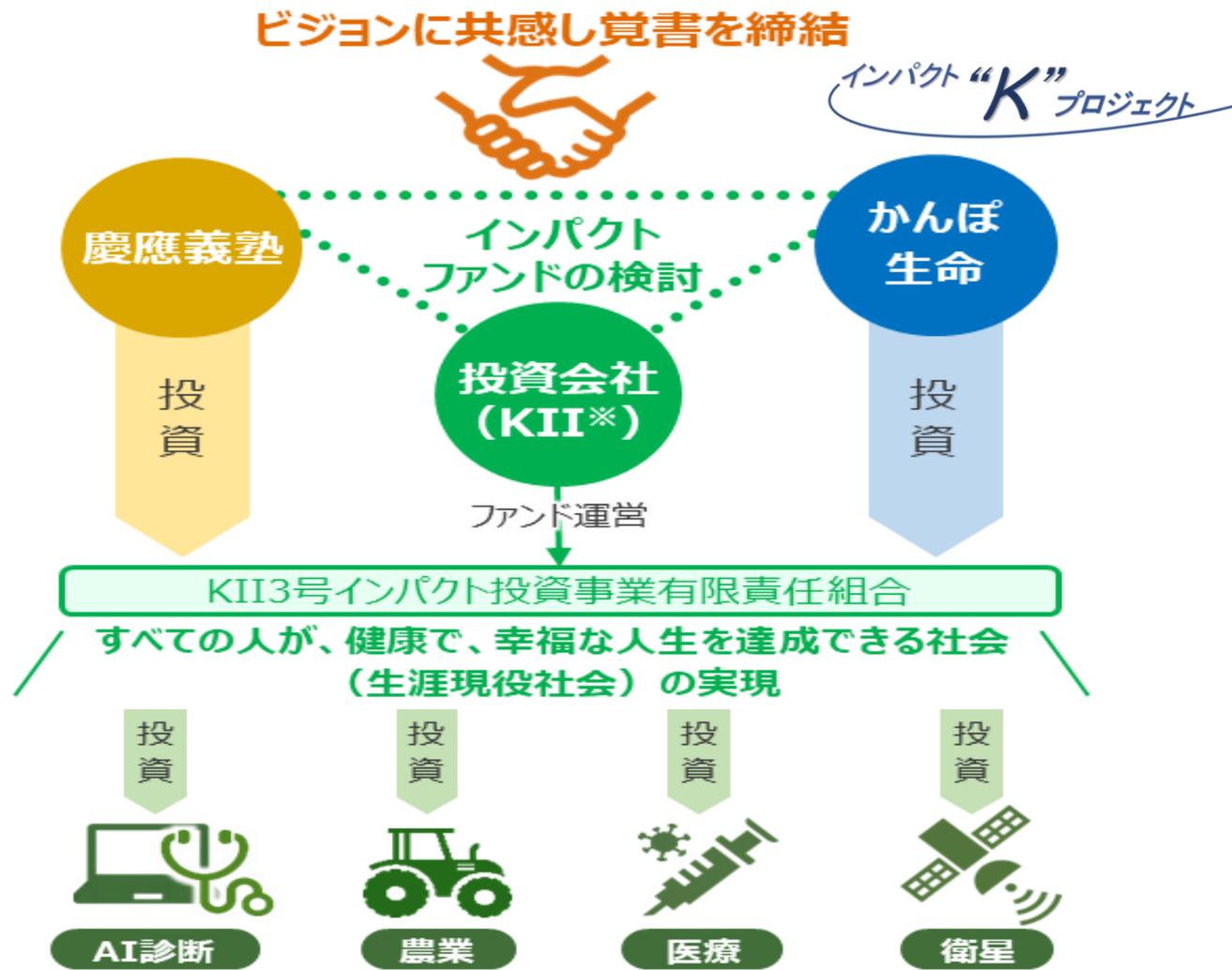
今後も、「Well-Being向上」、「地域と社会の発展」、「環境保護への貢献」をESG投資の重点取り組みテーマとし、「かんぽ生命らしい“あたたかさ”の感じられる投資を通じて、広くSDGsの目標達成や社会課題の解決に貢献してまいります。

※インパクト投資  
財務的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的・環境的インパクトを生み出すことを意図する投資行動

【かんぽ生命 ESG投資方針】  
<https://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/sustainability/esg/policy.html>

<本ファンドの概要>

|       |  |
|-------|--|
| 名称    | KII3号インパクト投資事業有限責任組合   |
| 運用会社  | 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ  |
| 投資分野  | 医療・健康領域、デジタル・テクノロジー領域  |
| コンセプト | 「すべての人が、健康で、幸福な人生を達成出来る社会（生涯現役社会）の実現」を目指し、医療・健康などの課題解決に意図的の大学発ベンチャー企業にインパクト投資を行うことにより、金融的リターンと並行して、ポジティブで測定可能な社会的・環境的インパクトの創出を目指します。 |
| 出資総額  | 100億円（最大）  |



※株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ（慶應義塾のオフィシャルベンチャーキャピタル）

2023.12.27 | お知らせ

## かんぽ生命『インパクト“K”プロジェクト』認証獲得のお知らせ



お知らせ

慶應イノベーション・イニシアティブの大学VC初のインパクトファンド「KII3号インパクトファンド」は、株式会社かんぽ生命保険の『インパクト“K”プロジェクト』認証を獲得したことをお知らせいたします。

この認証を受け、KIIは今後もインパクトグローバルスタンダードに準拠してインパクト測定及びマネジメント (IMM) に誠実に取り組み、セオリーオブチェンジ (ToC) やロジックモデル、インパクトの5つの基本要素、インパクトKPIの設定を投資先スタートアップと共に策定し、さらなるインパクト志向を加速させてまいります。

詳細はプレスリリースをご覧ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000052.000018580.html>

## システムチェンジの実現へ

- 中長期的な経済リターンの上昇とともに、社会課題を構造的に解決するシステムチェンジを実現し、かんぽ生命単独では得られない大きな成果(“より良い社会の実現”)を達成したい。
- お客様の大切なご家族が、保険金等を受け取るときに、より良い社会・未来であって欲しい。
- 強固なパートナーと連携を図りアセットオーナー発のインベストメントチェーンを通じ資金の好循環とイノベーション推進する。



## “年表” を創る ～歴史を刻む、進化をつなぐ～

- | 2008  | 2014  | 2016  | 2017   | 2019  | 2020   | 2021  | 2022   | 2023   | 2024  |  |   |  |  |
|---|---|---|--|---|--|---|--|--|---|--|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>日本郵政グループ、「国連グローバル・コンパクト」に参加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本版スチュワードシップ・コードを受け入れ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>国内株式自家運用でESG投資を導入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>責任投資原則（PRI）に署名</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>責任投資諮問委員会設置（現「責任投資諮問部会」の前身）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ESG投資方針の公表</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に賛同表明</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>全運用資産でのESGインテグレーションを導入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>資産運用でのネガティブ・スクリーニングを開始</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>インパクト志向金融宣言への署名</li> <li>社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）への参加</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>インパクト投資ファンド「インパクト・キャピタル1号投資事業有限責任組合」に投資</li> <li>サステナブル投資方針（ESG投資方針を改称）</li> <li>Global Impact Investing Network（GIIN）への国内生保初の加盟</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>インパクト投資ファンド「インパクト・キャピタル1号投資事業有限責任組合」に投資</li> <li>スII（慶應イノベーション・イニシアティブ）3号インパクト投資事業有限責任組合に投資</li> <li>学校法人立命館と覚書締結（インパクト志向の投資を通じて資金循環の促進や金融教育に向けた連携・協力）</li> <li>国立大学法人大阪大学と覚書締結（共創による未来社会の創造とアカデミアを核とした資金循環の促進に向けた連携・協力）</li> <li>コモンズ・インパクトファンドと共創に投資</li> <li>金融庁「インパクト投資等に関する検討会」のメンバーに運用企画部長が就任</li> <li>投資ポータルフォリオのGHG排出量削減目標設定</li> <li>学校法人慶應義塾と覚書締結（Well-Being向上とアカデミアを核とした資金循環の促進に向けた連携・協力）</li> <li>インパクト志向の投資の拡大に向け<br/><b>インパクトドックプロジェクト</b>を開始</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>インパクト投資ファンドと共創に投資</li> <li>金融庁「インパクト投資等に関する検討会」のメンバーに運用企画部長が就任</li> <li>投資ポータルフォリオのGHG排出量削減目標設定</li> <li>学校法人慶應義塾と覚書締結（Well-Being向上とアカデミアを核とした資金循環の促進に向けた連携・協力）</li> <li>インパクト志向の投資の拡大に向け<br/><b>インパクトドックプロジェクト</b>を開始</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>インパクト投資ファンド「インパクト・キャピタル1号投資事業有限責任組合」に投資</li> <li>サステナブル投資方針（ESG投資方針を改称）</li> <li>Global Impact Investing Network（GIIN）への国内生保初の加盟</li> </ul> |